



IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re Patent Application of:

Yoshiya OKAMOTO, et al.

Application No.:

Group Art Unit:

Filed: August 31, 2001

Examiner:

For: METHOD OF INVITATION TO ALTERATION OF CONTRACT OF CASH LOAN FOR CONSUMPTION

**SUBMISSION OF CERTIFIED COPY OF PRIOR FOREIGN
APPLICATION IN ACCORDANCE
WITH THE REQUIREMENTS OF 37 C.F.R. §1.55**

Assistant Commissioner for Patents
Washington, D.C. 20231

Sir:

In accordance with the provisions of 37 C.F.R. §1.55, the applicant(s) submit(s) herewith a certified copy of the following foreign application:

Japanese Patent Application No. 2001-130838

Filed: April 27, 2001

It is respectfully requested that the applicant(s) be given the benefit of the foreign filing date(s) as evidenced by the certified papers attached hereto, in accordance with the requirements of 35 U.S.C. §119.

Respectfully submitted,

STAAS & HALSEY LLP

Date: August 31, 2001

By: _____

James D. Halsey, Jr.
Registration No. 22,729

700 11th Street, N.W., Ste. 500
Washington, D.C. 20001
(202) 434-1500

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2001年 4月27日

出 願 番 号

Application Number:

特願2001-130838

出 願 人

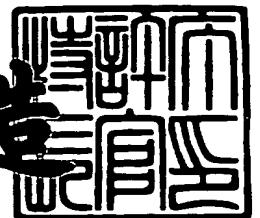
Applicant(s):

富士通株式会社

2001年 6月 7日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Japan Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3053617

【書類名】 特許願

【整理番号】 0150630

【提出日】 平成13年 4月27日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 H04L 12/00

【発明の名称】 金銭消費貸借契約変更の勧誘方法

【請求項の数】 5

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

【氏名】 岡本 義也

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

【氏名】 澤田 誠

【特許出願人】

【識別番号】 000005223

【氏名又は名称】 富士通株式会社

【代理人】

【識別番号】 100092152

【弁理士】

【氏名又は名称】 服部 毅巖

【電話番号】 0426-45-6644

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 009874

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9705176

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 金銭消費貸借契約変更の勧誘方法

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 債務者に対して支払い条件の契約内容の変更を勧誘する金銭消費貸借契約変更の勧誘方法において、

債務者の中からあらかじめ設定された条件を満たす勧誘対象者を抽出し、

抽出された債務者に対して支払い条件を緩和するような別の支払い条件への契約内容の変更の案内および契約内容の変更受け付けに関する情報を通知し、

前記債務者からのアクセスに基づき、前記別の支払い条件に変更したときの返済計画のシミュレーションを行い、

前記シミュレーションの結果に対して前記債務者から新契約内容への変更に対する同意が得られた場合に契約内容の変更手続きを行う、

ことを特徴とする金銭消費貸借契約変更の勧誘方法。

【請求項 2】 債務者に対して支払い条件の契約内容の変更を勧誘する金銭消費貸借契約変更の勧誘方法において、

債務者の中から債務不履行または債務不履行候補となる条件を満たす勧誘対象者を抽出し、

抽出された債務者に対して支払い条件を緩和するような別の支払い条件への契約内容の変更の案内および契約内容の変更受け付けをしているウェブサイトのアドレスを郵便または電子メールにて通知し、

前記債務者からのアクセスに基づき前記ウェブサイト上にて、前記別の支払い条件に変更したときの返済計画のシミュレーションを行い、

前記シミュレーションの結果に対して前記債務者から新契約内容への変更に対する同意が得られた場合に契約内容の変更手続きを行う、

ことを特徴とする金銭消費貸借契約変更の勧誘方法。

【請求項 3】 前記勧誘対象者の抽出は、前記別の支払条件で契約可能かどうかの審査を含んでいることを特徴とする請求項 2 記載の金銭消費貸借契約変更の勧誘方法。

【請求項 4】 前記勧誘対象者の抽出は、請求書の発行を行う請求データ作

成時または督促データ作成時に行うことを特徴とする請求項 2 記載の金銭消費貸借契約変更の勧誘方法。

【請求項 5】 前記契約内容の変更手続きは、現状の契約に対して登録されている情報から、該手続きに必要な情報を抽出し、表示させるようにしたことを特徴とする請求項 2 記載の金銭消費貸借契約変更の勧誘方法。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

本発明は金銭消費貸借契約変更の勧誘方法に関し、特に信販業、クレジット業を行う企業、銀行などの金融機関、消費者金融業者などが債権者となる金銭消費貸借契約について、債務不履行者や債務不履行となる可能性の高い債務者（顧客）に対して支払い条件を緩和するような新しい契約内容への変更を勧誘する金銭消費貸借契約変更の勧誘方法に関する。

【 0 0 0 2 】

近年の金融業界では、さまざまな業界からの進出によって競争が激化しており、今まで有料であったカード会員の会費を無料化したり、提携している加盟店の手数料を引き下げる傾向にある。

【 0 0 0 3 】

また、カード利用者のニーズは、金利負担のない一括払いから月々の返済が容易な分割払いやリボ払いにするケースが増えてきている。

さらに、利用者としては、分割払いやリボ払いなど金額および支払い日の決まった返済方法ではなく、たとえば余裕があるときには残額あるいは何ヶ月分かを一括で返済したり、逆に余裕がないときにはボーナス併用あるいは分割回数を増やしたり、あるいは支払う場所も、銀行や郵便局の A T M (automatic teller machine) やコンビニエンスストアで行うなど、金利負担よりも返済の自由度が高い支払方法を望むニーズも増えてきている。

【 0 0 0 4 】

それに合わせて、企業側も、長期貸出と金利の高い金融商品への誘導を志向している。

【 0 0 0 5 】

【従来の技術】

従来より、カード利用者は、返済日までにカード会社への入金がなかった場合に、カード会社から督促を受けることになるが、その督促に応じて支払いを行う際に当座の持ち合わせがない場合、別のローン業者を探し、そこから新たな借入を行って返済に当てることがある。このような行為は、カード利用者にとっては、借入のための新たな手続き、つまり、申し込みから審査を経て融資を受けるまでに種々の手続きが発生するため手間と時間がかかり、返済のために別のローン業者からの借入に余分な手間がかかっていた。

【 0 0 0 6 】

【発明が解決しようとする課題】

しかし、この別のローン業者より新たな借入を行って返済を行うという行為は、カード会社にとっては契約内容に従った返済を受けているだけだが、別の見方をすると、カード会社は新たな契約獲得の機会を逸していることになっているという問題点があった。

【 0 0 0 7 】

本発明はこのような点に鑑みてなされたものであり、新たな契約獲得の可能性のある潜在顧客を発掘し、契約促進することができる金銭消費貸借契約変更の勧誘方法を提供することを目的とする。

【 0 0 0 8 】

【課題を解決するための手段】

本発明では上記課題を解決するために、図 1 に示すような金銭消費貸借契約変更の勧誘方法が提供される。本発明では、この金銭消費貸借契約変更の勧誘を、利用明細を発行するとき、および／または支払い予定日に入金がない債務者に対する督促処理を行うタイミングで開始する。

【 0 0 0 9 】

まず、債務者の中から債務不履行候補または債務不履行となる条件を満たす勧誘対象者を抽出する（ステップ S 1）。次に、抽出された債務者に対して支払い条件を緩和するような新契約の案内を契約内容の変更受け付けをしているウェブ

サイトのインターネットアドレスとともに郵便または電子メールにて通知する（ステップ S 2）。その案内を見た債務者がそのウェブサイトアクセスしたときに、案内された契約内容の変更をした場合の返済計画のシミュレーションを行う（ステップ S 3）。そして、そのシミュレーションの結果、新契約内容への変更に対して同意できる場合、債務者は、その場で、契約内容の変更手続きを行うことができる（ステップ S 4）。

【 0 0 1 0 】

これにより、債権者は、自己の顧客である債務者が一時的な弁済のために他のローン業者へ流れていくことを防止することができ、しかも、勧誘対象者は、事前に審査が済んでおり、新契約が可能な債務者しか抽出しないので、効率良く新しい契約の獲得を促進することができる。また、債務者にとっては、ウェブサイト上で新しい契約にした場合の返済計画をその場で確認して新契約の申し込みをその場で行うことができることから、新契約の手続きを容易に行うことができ、弁済のための新たな資金調達の手間をなくすことができる。

【 0 0 1 1 】

【発明の実施の形態】

まず、本発明の概略について図面を参照して説明する。

図 1 は本発明による金銭消費貸借契約変更の勧誘方法の原理的な処理の流れを示すフローチャートである。

【 0 0 1 2 】

この金銭消費貸借契約変更の勧誘は、利用明細および請求書を発行するとき、および／または支払い予定日に入金がない債務者に対する督促状を発行するタイミングで開始される。まず、債務者の中から債務不履行候補または債務不履行となる条件を満たす勧誘対象者を抽出する（ステップ S 1）。このとき、債務者が勧誘に応じた場合の契約が締結可能かどうかの審査も事前しておく。

【 0 0 1 3 】

次に、抽出された債務者に対して支払い条件を緩和するような別の支払い条件を内容とした新契約の案内を郵便または電子メールにて通知する（ステップ S 2）。このとき、郵便または電子メールには、契約内容の変更受け付けをしている

ウェブサイトのインターネットアドレスを記載しておく。

【 0 0 1 4 】

その案内を見た債務者は、その郵便または電子メールに記載されているウェブサイトアクセスし、そこに表示されている現契約の内容を確認し、案内された現契約とは別の支払い条件に変更したときの返済計画のシミュレーションを行う（ステップ S 3）。

【 0 0 1 5 】

債務者は、そのシミュレーションの結果、新契約内容への変更に対して同意できるならばその場で、契約内容の変更手続きを行う（ステップ S 4）。

これにより、債権者は、自己の顧客である債務者が一時的な弁済のために他のローン業者へ流れていくことを防止することができ、しかも、勧誘対象者は、事前に審査が済んでおり、新契約が可能な債務者しか抽出しないので、効率良く新しい契約の獲得を促進することができる。また、債務者にとっては、ウェブサイト上で新しい契約にした場合の返済計画をその場で確認することができ、しかも、新契約の申し込みをその場で行うことができ、手続きに必要な審査が不要なことから、新契約の手続きをスムーズかつ容易に行うことができるばかりでなく、弁済のための新たな資金調達の手間をなくすことができる。

【 0 0 1 6 】

次に、本発明の実施の形態をクレジット会社における業務処理システムに適用した場合を例に図面を参照して詳細に説明する。

図 2 は本発明の勧誘方法を実現するシステム構成を示す図である。

【 0 0 1 7 】

クレジット会社 1 は、顧客管理用の業務処理を行うコンピュータであるサーバ 2 を備え、そのサーバ 2 はインターネット網 3 に接続されている。そのクレジット会社 1 の顧客 4 のパーソナルコンピュータ 5 もインターネット網 3 に接続されている。

【 0 0 1 8 】

クレジット会社 1 のサーバ 2 は、顧客管理に必要な管理データを格納するディスク 6 を備え、顧客に対して電子メールを送付するための電子メール処理機能お

よび顧客からの契約申し込みを受け付け処理を行うウェブ受け付け機能を有している。

【0019】

一方、顧客4側のパーソナルコンピュータ5には、クレジット会社1からの電子メールを受信する機能およびウェブブラウザ機能を有している。

以上の構成で、カードを持たない個品割賦利用顧客と、カードは持っているが支払条件が緩和される機能、たとえばリボ返済機能が付いていない既存カード利用顧客に対して、支払条件が緩和される新カードへの切り換えを勧誘するものとする。クレジット会社1は、毎月行われる利用明細および請求書の発行処理時または督促処理時において、まず、勧誘対象条件を満たす顧客を抽出する。抽出された顧客に対し電子メールにて支払条件が緩和される新カードへの切り換え勧誘の案内とクレジット会社1のウェブサイトのアドレスとを通知する。クレジット会社1から電子メールでの連絡ができない顧客に対しては、新カードへの切り換え勧誘の案内とクレジット会社のウェブサイトのアドレスとを記載した書面を郵送する。

【0020】

その案内を見た顧客は、電子メールまたは郵便に記載されているウェブサイトアクセスし、そこに表示されている現契約の内容を確認し、案内された新カードへ切り換えたときの返済計画がどのように変わるかを自分でシミュレーションを行って現カードとの違いを認識する。このとき、支払条件を変えたときの毎月の支払いに対する残債の変化を表わす残債曲線を表示するようにするとよい。

【0021】

そのシミュレーションの結果、新カードへの切り換えに同意できる場合には、そのウェブサイト上で、新カードへの申し込みをすることができる。

なお、ここでは、顧客4がクレジット会社1からの電子メールの受け取りおよび勧誘に対する新カードへの切り換えの申し込みをパーソナルコンピュータ5で行う例を示したが、同機能を有する携帯電話や携帯端末を利用することもできる。

【0022】

次に、クレジット会社 1 における処理の流れについて詳細に説明する。

図 3 は新カードへの切り換え勧誘の全体処理を表わす図である。

クレジット会社 1 における処理は、売上処理 1 1 から始まる。この売上処理は、加盟店から送られてくる売上傳票、加盟店に設置されているクレジット照会端末（CAT: Credit authorization terminal）、キャッシングに利用される現金自動支払機（CD: Cash Dispenser）などからの顧客による物品購入に関するデータに基づいて行われ、契約マスタ 1 2 に格納される。

【 0 0 2 3 】

請求処理 1 7 では、契約マスタ 1 2、顧客マスタ 1 4 および商品マスタ 1 8 をもとに請求データ 1 5 を作成し、利用明細および請求書の発行を行うとともに、履歴データ 1 9 を追加更新する。

【 0 0 2 4 】

請求データ作成時勧誘対象抽出処理 1 3 は、契約マスタ 1 2、顧客マスタ 1 4、請求データ 1 5 および履歴データ 1 9 のデータをもとに勧誘対象顧客を抽出し、抽出した顧客データを勧誘対象マスタ 1 6 に格納する。

【 0 0 2 5 】

次に、入金処理 2 0 では、入金データ 2 1 および契約マスタ 1 2 のデータをもとに入金処理を行い、契約マスタ 1 2 および履歴データ 1 9 を更新する。

督促処理 2 2 では、履歴データ 1 9 のデータをもとに督促処理を行い、督促データ 2 3 を作成して格納する。

【 0 0 2 6 】

督促データ作成時勧誘対象抽出処理 2 4 では、顧客マスタ 1 4 および履歴データ 1 9 をもとに勧誘対象を抽出し、抽出した顧客データを勧誘対象抽出マスタ 2 5 に格納する。

【 0 0 2 7 】

メール送信処理 2 6 では、請求データ 1 5、督促データ 2 3、勧誘対象マスタ 1 6 の顧客データおよび勧誘対象抽出マスタ 2 5 の顧客データをもとに案内メールの本文を作成し、顧客のメールアドレスへ送信する処理を行う。

【 0 0 2 8 】

そして、オンライン処理 27 では、ウェブサイトアクセスした顧客に関して、勧誘対象マスタ 16 の顧客データまたは勧誘対象抽出マスタ 25 の顧客データをもとに新カードへの切り換え後の返済計画のシミュレーションや新カードへの入会申し込みの受け付け処理を行う。

【0029】

なお、以上の処理のうち、売上処理 11、請求処理 17、入金処理 20、督促処理 22 およびメール送信処理 26 は、従来の業務処理で行われている処理である。

【0030】

次に、このクレジット会社の業務処理に必要なデータの具体例について説明する。

図 4 は契約マスタのデータ構成の例を示す図である。

【0031】

契約マスタ 12 は、少なくとも、契約番号、有効期限、残高、手数料率、種別、購入品、購入金額および購入日のフィールドを有している。契約マスタ 12 には、契約ごとのデータ、すなわち、顧客によるクレジットや個品割賦を利用した商品購入に関するデータが格納されている。ここで、種別は、カードの種別か個品割賦の場合かを識別するデータで、後述する商品マスタ 18 にて定義された商品種別のデータである。契約マスタ 12 内のデータは、売上処理 11 へ新規のデータが入ってくる度に追加更新され、入金処理 20 により、残高データが更新される。なお、本実施の形態では、顧客番号に枝番を付したものを契約番号としているため、契約番号から顧客番号が分かるようになっているが、契約マスタ 12 内に顧客番号のデータを備えていてもよい。

【0032】

図 5 は顧客マスタのデータ構成の例を示す図である。

顧客マスタ 14 は、顧客番号、個人情報および口座情報のフィールドを有し、個人情報については、少なくとも、カナ氏名、漢字氏名、住所、居住区分、居住年数、勤務先、勤務先電話番号のフィールドからなり、口座番号は、銀行コード、支店コード、口座の種目および口座番号のフィールドや、生年月日（図示せず

）のフィールドなどからなっている。ここで、居住区分のデータの「1」は持家を表し、「2」はマンションを表わしている。

【0033】

図6は商品マスタのデータ構成の例を示す図である。

商品マスタ18は、カードの種別によって備えている支払形態を定義したデータを格納しており、商品種別、一括、分割、リボ、ボーナス併用のフィールドを有している。ここでは、2種類のカードおよび個品割賦で可能な支払形態を示している。

【0034】

図7は請求データのデータ構成の例を示す図である。

請求データ15は、契約番号、処理月、請求額、入金額、残金、入金区分、入金結果区分、銀行コード、支店コード、種目および口座番号のフィールドを有している。ここで、入金区分としては、銀行から入金されたのか、自動預金支払機（ATM）からの入金なのか、またはコンビニエンスストアから入金されたのかを区別するデータである。また、入金結果区分は、正常に入金できたのか、あるいは残高不足で入金できなかったのかを表すデータである。

【0035】

図8は勧誘対象マスタのデータ構成の例を示す図である。

勧誘対象マスタ16は、顧客番号、個人情報、口座情報、請求額、残高および貸付条件のフィールドを有している。個人情報は、カナ氏名、漢字氏名、住所、居住区分、居住年数、勤務先、勤務先電話番号のフィールドからなり、口座番号は、銀行コード、支店コード、種目および口座番号のフィールドからなっている。

【0036】

図9は履歴データのデータ構成の例を示す図である。

履歴データ19は、契約番号、処理月、請求額、入金額、残金、入金区分および入金結果区分のフィールドや支払日（図示せず）のフィールドを有している。ここで、入金区分は、入金が行った銀行、自動預金支払機（ATM）およびコンビニエンスストアのいずれであるかを区別し、入金結果区分は、正常入金か残高不足か

を表すデータである。

【 0 0 3 7 】

履歴データ 1 9 は、請求処理 1 7 で新規の請求データが生成される度に追加更新され、入金処理 2 0 により入金額、残高、入金区分、入金結果区分などが更新される。入金があった場合には、たとえば該当顧客の残金があるデータのうち、一番日付が古いデータから順に消し込まれる。

【 0 0 3 8 】

図 1 0 は入金データ／督促データのデータ構成の例を示す図である。

入金データ 2 1 および督促データ 2 3 は、顧客番号、処理月、請求額、入金額、残金および入金結果区分のフィールドからなっている。このように、入金データ 2 1 および督促データ 2 3 は、同じデータ構造を有している。これは、入金処理を行った結果、作られるのが入金データ 2 1 であり、その入金データ 2 1 から入金できなかった情報のみを抽出したものが督促データ 2 3 であるからである。

【 0 0 3 9 】

図 1 1 は勧誘対象抽出マスタのデータ構成の例を示す図である。

勧誘対象抽出マスタ 2 5 は、顧客番号、個人情報、口座情報、請求額、残高および貸付条件のフィールドを有している。個人情報は、カナ氏名、漢字氏名、住所、居住区分、居住年数、勤務先、勤務先電話番号のフィールドからなり、口座番号は、銀行コード、支店コード、種目および口座番号のフィールドからなっている。

【 0 0 4 0 】

ここで、請求データ作成時に新カードへの変更を勧誘する処理を行う場合について説明する。

図 1 2 は請求データ作成における勧誘対象顧客の抽出処理を示すフローチャートである。

【 0 0 4 1 】

この処理は、現契約における当月分の通常の利用明細および請求書の発行処理のときに、新カードへの勧誘対象条件を満たす顧客の抽出を行うもので、請求処理 1 7 およびこれに続く請求データ作成時勧誘対象抽出処理 1 3 において行なわ

れる。

【 0 0 4 2 】

まず、契約マスタ 1 2 から該当月に利用のあった、すなわち購入日が該当月である顧客、1 枚のカードで複数の分割払いを抱えている顧客、種別が個品割賦である顧客、有効期限が間近（たとえば 3 ヶ月以内）の顧客などのデータを抽出する（ステップ S 1 1）。次に、抽出したデータに対応する履歴データ 1 9などを参照し、第 1 抽出条件を満たしているかどうか判断される（ステップ S 1 2）。ここで、第 1 抽出条件として、たとえば該当月の請求額が一定額以上であることを抽出条件としている。この第 1 抽出条件を満たしている場合、抽出された顧客の顧客マスタ 1 4 内のデータを参照し、第 2 抽出条件を満たしているかどうか判断される（ステップ S 1 3）。ここで、第 2 抽出条件として、同住所への居住年数が一定年数（たとえば 3 年）以上であること、職に就いていること、および一定年齢（たとえば 2 0 歳）以上であることを同時に満たしていることを抽出条件としている。

【 0 0 4 3 】

この第 2 抽出条件をも満たしている場合には、抽出した顧客毎に貸付条件を設定する（ステップ S 1 4）。貸付条件は、通常の与信枠と同等の枠を設定している。たとえば、利用用途と信用状況とをもとに設定する。まず、契約マスタ 1 2 の種別を参照して、物品購入のように利用用途が明確な場合には、貸付けの枠を大きく、キャッシングのように利用用途が不明の場合には、貸付けの枠を小さく設定する。また、信用状況については、履歴データ 1 9 を参照して、過去に支払遅延がなかった場合は、貸付枠を増額し、支払遅延があった場合は、貸付枠の増額はしないようにしている。ステップ S 1 4 までに抽出され、貸付枠が設定されたデータは勧誘対象マスタ 1 6 に格納される。

【 0 0 4 4 】

次に、請求書データに新カードへ切り換えを勧誘する借り換え案内のデータを追加する（ステップ S 1 5）。そして、勧誘対象マスタ 1 6 を参照し、ステップ S 1 2, S 1 3 における判断にてそれぞれの抽出条件を満たした顧客には、借り換え案内のデータの追加した請求書を、ステップ S 1 2, S 1 3 における判断に

てそれぞれの抽出条件を満たさない顧客には、請求書のみを発行する（ステップ S 1 6）。

【 0 0 4 5 】

次に、督促データ作成時に新カードへの変更を勧誘する処理を行う場合について説明する。

図 1 3 は督促データ作成における勧誘対象顧客の抽出処理を示すフローチャートである。

【 0 0 4 6 】

この処理は、入金処理 2 0 において、支払い日を過ぎても入金がない顧客に対して督促を送付するときに、新カードへの勧誘対象条件を満たす顧客の抽出を行うもので、督促処理 2 2 および督促データ作成時勧誘対象抽出処理 2 4 において行なわれる。

【 0 0 4 7 】

まず、入金処理 2 0 で入手した入金データ 2 1 で更新された履歴データ 1 9 を参照し、支払い日を過ぎても入金がない顧客情報を抽出する（ステップ S 2 1）。次に、抽出された顧客の顧客マスタ 1 4 内のデータを参照し、第 2 抽出条件を満たしているかどうか判断される（ステップ S 2 2）。ここで、第 2 抽出条件として、同住所への居住年数が一定年数（たとえば 3 年）以上であること、職に就いていること、および一定年齢（たとえば 2 0 歳）以上であることを同時に満たしていることを抽出条件としている。この第 2 抽出条件を満たしている場合、抽出された顧客に対応する履歴データ 1 9 を参照し、第 3 抽出条件を満たしているかどうか判断される（ステップ S 2 3）。第 3 抽出条件として、たとえば未入金が連続して 3 回以内であることを抽出条件としている。

【 0 0 4 8 】

ここで、この第 3 抽出条件をも満たしている場合には、抽出した顧客毎に貸付条件を設定する（ステップ S 2 4）。貸付条件は、通常の与信枠と同等の枠を設定している。たとえば、利用用途と信用状況とをもとに設定する。まず、契約マスタ 1 2 の種別を参照して、物品購入のように利用用途が明確な場合には、貸付けの枠を大きく、キャッシングのように利用用途が不明の場合には、貸付けの枠

を小さく設定する。また、信用状況については、履歴データ 1 9 を参照して、過去に支払遅延がなかった場合は、貸付枠を増額し、支払遅延があった場合は、貸付枠の増額はしないようにしている。ステップ S 2 4 までに抽出され、貸付枠が設定されたデータは勧誘対象抽出マスタ 2 5 に格納される。

【 0 0 4 9 】

次に、督促状データに新カードへ切り換えを勧誘する借り換え案内のデータを追加する（ステップ S 2 5）。そして、勧誘対象抽出マスタ 2 5 を参照し、ステップ S 2 2, S 2 3 における判断にてそれぞれの抽出条件を満たした顧客には、借り換え案内のデータの追加した督促を、ステップ S 2 2, S 2 3 における判断にてそれぞれの抽出条件を満たさない顧客には、督促状のみを発行する（ステップ S 2 6）。

【 0 0 5 0 】

また、上記の利用明細および請求書の発行と並行して、メール送信処理 2 6 により新カードへの切り換えを勧誘する借り換え案内を含む内容の電子メールを全会員に対して送付してもよい。

【 0 0 5 1 】

図 1 4 は借り換え案内を含む電子メールの記載例を示す図である。

この電子メールの例によれば、支払条件を軽減するような新しいカードがある旨の案内と、その新しいカードに切り換えたときの返済計画を自分でシミュレーションできる旨の案内と、そのようなサービスを提供するウェブサイトのインターネットアドレス（URL: Uniform Resource Locator）と、そのウェブサイトからのログインの際に必要な顧客コードとが記載されている。これにより、クレジット会社の顧客は、その電子メールに記載されている URL にアクセスして、必要なサービスを受けることができる。

【 0 0 5 2 】

さらに、上記の利用明細および請求書の発行と督促状の発行時に並行して、それぞれ勧誘対象者抽出処理にて抽出した顧客に対して個別に新カードへ切り換えを勧誘する借り換え案内の電子メールを送付してもよい。

【 0 0 5 3 】

次に、郵送または電子メールにて通知されたURLに顧客からアクセスがあった場合のオンライン処理27について説明する。

図15はオンライン処理の流れを示すフローチャートである。

【0054】

まず、顧客から識別番号を受け付け、ログイン処理を行う（ステップS31）。識別番号は、先に通知した顧客コードである。次に、その顧客コードを識別番号として入力受付を行い、勧誘対象マスタ16または勧誘対象抽出マスタ25をもとに貸付条件を参照する（ステップS32）。次に、当該顧客に対応する請求データ15や顧客マスタ14などから得られる情報とその貸付条件とをもとにウェブ画面を生成し、出力する（ステップS33）。

【0055】

ここで、支払額の指定入力があるかどうかを判断し、（ステップS34）、支払額の指定入力がある場合には、支払い結果を算出し、ウェブ画面を生成して出力する（ステップS35）。支払額の指定入力がない場合には、このステップS35は、パスする。

【0056】

次に、支払方法変更に同意の入力があるかどうかを判断する（ステップS36）。ここで、顧客の同意が得られれば、旧契約の破棄と新契約の締結を行い（ステップS37）、同意が得られない場合は、顧客によって指示されたアクションに対する通常のウェブ画面の遷移に移る（ステップS38）。

【0057】

なお、この処理例では、支払額の指定入力をもとに返済シミュレーションを行うようにしたが、支払回数の指定入力で行うようにしてもよい。

次に、上記のステップS33で生成される画面の例を示す。

【0058】

図16は個品割賦利用顧客向けのウェブ画面例の上半分を示す図、図17は個品割賦利用顧客向けのウェブ画面例の下半分を示す図である。

この個品割賦利用顧客向けのウェブ画面30は、クレジット会社のウェブサイトトップページからログインすることによって表示される。このウェブ画面3

0 は、大きく分けて、顧客の情報の表示部 31 と、利用明細に関する情報の表示部 32 と、請求日と請求金額に関する情報の表示部 33 と、返済シミュレーションを行うときの条件入力部 34 と、返済シミュレーション結果の表示部 35 と、新カードへの申し込み手続き表示部 36 とが一つの画面によって作られ、表示されない部分はスクロールさせることで表示させるようにしている。

【0059】

このウェブ画面 30 では、画面上部にある表示部 31、32、33 によって、顧客の情報および利用状況を確認させ、支払方法に変更がなければ、終了ボタン 37 を押すことによってこのウェブ画面 30 を終了させることができる。

【0060】

返済シミュレーションの条件入力部 34 は、カードに入会したときの返済計画がどのように変化するかを見たいときに、支払金額および返済日を入力する。支払金額は、最低支払わなければならないミニマムペイメントが表示されているので、それより高い金額を入力する。すると、返済シミュレーション結果の表示部 35 は、動的に変化し、そのシミュレーション結果が表示されるようになる。シミュレーション結果としては、支払い日、手数料、支払回数などが数値的に表示されるとともに、返済残高および返済額内訳の変化を表す残債曲線も併せて表示するようにしている。

【0061】

申し込み手続き表示部 36 には、カードに入会するに当たっての会員規約を表示させるためのボタン 38 と、確認のために表示した顧客情報の変更を行うボタン 39 と、カード入会の申し込みをするときに押す同意ボタン 40 とが配置されている。

【0062】

このように、カード入会手続きを行うとき、申し込みに必要な必須入力項目はクレジット会社が既に持っている顧客情報を利用して、表示させるようにし、変更箇所のみ変更できるようにしているため、申し込み手続きの手間を大幅に軽減させることができる。また、カード入会に関する審査は、カード入会の案内を発送する前に行われているため、契約手続の完了までにかかる時間を短縮すること

ができる。

【0063】

図18は既存カード利用顧客向けのウェブ画面例の上半分を示す図、図19は既存カード利用顧客向けのウェブ画面例の下半分を示す図である。

この既存カード利用顧客向けのウェブ画面50は、クレジット会社のウェブサイトのトップページからログインすることによって表示される。このウェブ画面50も、顧客の情報の表示部51と、利用明細に関する情報の表示部52と、請求日と請求金額に関する情報の表示部53と、返済シミュレーションを行うときの条件入力部54と、返済シミュレーション結果の表示部55と、カード変更手続き表示部56とが一つの画面によって作られ、表示されない部分はスクロールさせることで表示させるようにしている。

【0064】

このウェブ画面50では、画面上部にある表示部51、52、53によって、顧客のカード番号、顧客の情報および利用状況を確認させ、支払方法に変更がなければ、終了ボタン57を押すことによってこのウェブ画面50を終了させることができる。

【0065】

返済シミュレーションの条件入力部54は、カードを変更したときの返済計画がどのように変化するかを見たいときに、支払金額および返済日を入力する。すると、返済シミュレーション結果の表示部55は、動的に変化し、そのシミュレーション結果が表示されるようになる。

【0066】

申し込み手続き表示部56には、カードを変更するに当たっての会員規約を表示させるためのボタン58と、確認のために表示した顧客情報の変更を行うボタン59と、カード変更の申し込みをするときに押す同意ボタン60とが配置されている。

【0067】

このように、カード変更手続きを行うとき、顧客は自分の情報を入力する必要がないため、申し込み手続きの手間を大幅に軽減させることができる。また、カ

ード入会に関する審査は、カード入会の案内を発送する前に行われているため、契約手続の完了までにかかる時間を短縮することができる。

【 0 0 6 8 】

図 2 0 は本発明の実施の形態に用いるサーバのハードウェア構成例を示す図である。

サーバ 2 は、CPU (Central Processing Unit) 7 1 によって装置全体が制御されている。CPU 7 1 には、バス 7 2 を介して RAM (Random Access Memory) 7 3、ハードディスク装置 (HDD) 7 4、グラフィック処理部 7 5、入力インタフェース 7 6、および通信インタフェース 7 7 が接続されている。

【 0 0 6 9 】

RAM 7 3 は、CPU 7 1 に実行させる OS (Operating System) のプログラムや業務処理プログラムの少なくとも一部が一時的に格納される。また、RAM 7 3 には、CPU 7 1 による処理に必要な各種データが格納される。HDD 7 4 は、OS やクレジット会社の業務処理プログラムおよびデータが格納される。

【 0 0 7 0 】

グラフィック処理部 7 5 には、モニタ装置 7 8 が接続されている。グラフィック処理部 7 5 は、CPU 7 1 からの命令に従って顧客データ管理用の入力画面などをモニタ装置 7 8 に表示させる。入力インタフェース 7 6 には、キーボード 7 9 とマウス 8 0 とが接続されている。入力インタフェース 7 6 は、キーボード 7 9 やマウス 8 0 から送られてくる信号を、バス 7 2 を介して CPU 7 1 に送信する。

【 0 0 7 1 】

通信インタフェース 7 7 は、インターネット網 3 に接続されている。通信インタフェース 7 7 は、インターネット網 3 を介して顧客のパーソナルコンピュータ 5 との間で、電子メールやウェブ画面のデータの送受信を行う。

【 0 0 7 2 】

なお、図 2 0 では、サーバ 2 のハードウェア構成について説明したが、端末装置である顧客のパーソナルコンピュータ 5 や携帯電話などの携帯端末も同様のハードウェア構成である。

【 0 0 7 3 】

本発明の実施の形態に係る金銭消費貸借契約変更の勧誘プログラムを図 2 0 に示すコンピュータで実行させることにより、コンピュータを金銭消費貸借契約変更の勧誘装置として機能させることができる。

【 0 0 7 4 】

また、上記の各コンピュータが有すべき機能の処理内容は、コンピュータで読み取り可能な記録媒体に記録されたプログラムに記述しておくことができる。このプログラムをコンピュータで実行することにより、上記処理がコンピュータで実現できる。コンピュータで読み取り可能な記録媒体としては、磁気記録装置や半導体メモリなどがある。市場に流通させる場合には、C D - R O M (Compact Disk Read Only Memory) やフレキシブルディスクなどの可搬型記録媒体にプログラムを格納して流通させたり、ネットワークを介して接続されたコンピュータの記憶装置に格納しておき、ネットワークを通じて他のコンピュータに転送することもできる。コンピュータで実行する際には、コンピュータ内のハードディスク装置などにプログラムを格納しておき、メインメモリにロードして実行する。

【 0 0 7 5 】

(付記 1) 債務者に対して支払い条件の契約内容の変更を勧誘する金銭消費貸借契約変更の勧誘方法において、

債務者の中からあらかじめ設定された条件を満たす勧誘対象者を抽出し、

抽出された債務者に対して支払い条件を緩和するような別の支払い条件への契約内容の変更の案内および契約内容の変更受け付けに関する情報を通知し、

前記債務者からのアクセスに基づき、前記別の支払い条件に変更したときの返済計画のシミュレーションを行い、

前記シミュレーションの結果に対して前記債務者から新契約内容への変更に対する同意が得られた場合に契約内容の変更手続きを行う、

ことを特徴とする金銭消費貸借契約変更の勧誘方法。

【 0 0 7 6 】

(付記 2) 債務者に対して支払い条件の契約内容の変更を勧誘する金銭消費

貸借契約変更の勧誘方法において、

債務者の中から債務不履行または債務不履行候補となる条件を満たす勧誘対象者を抽出し、

抽出された債務者に対して支払い条件を緩和するような別の支払い条件への契約内容の変更の案内および契約内容の変更受け付けをしているウェブサイトのアドレスを郵便または電子メールにて通知し、

前記債務者からのアクセスに基づき前記ウェブサイト上にて、前記別の支払い条件に変更したときの返済計画のシミュレーションを行い、

前記シミュレーションの結果に対して前記債務者から新契約内容への変更に対する同意が得られた場合に契約内容の変更手続きを行う、

ことを特徴とする金銭消費貸借契約変更の勧誘方法。

【 0 0 7 7 】

(付記 3) 前記勧誘対象者の抽出は、前記別の支払条件で契約可能かどうかの審査を含んでいることを特徴とする付記 2 記載の金銭消費貸借契約変更の勧誘方法。

【 0 0 7 8 】

(付記 4) 前記勧誘対象者の抽出は、請求書の発行を行う請求データ作成時または督促データ作成時に行うことを特徴とする付記 2 記載の金銭消費貸借契約変更の勧誘方法。

【 0 0 7 9 】

(付記 5) 前記請求データ作成時における前記勧誘対象者の抽出の条件は、少なくとも請求額が一定額以上であり、同住所への居住年数が一定年数以上であり、職に就いていて、一定年齢以上であることを同時に満たしていることを特徴とする付記 4 記載の金銭消費貸借契約変更の勧誘方法。

【 0 0 8 0 】

(付記 6) 前記督促データ作成時における前記勧誘対象者の抽出の条件は、少なくとも未入金が続いて一定回数以下であり、同住所への居住年数が一定年数以上であり、職に就いていて、一定年齢以上であることを同時に満たしていることを特徴とする付記 4 記載の金銭消費貸借契約変更の勧誘方法。

【 0 0 8 1 】

（付記 7） 前記返済計画のシミュレーションは、支払条件を変えたときの毎月の支払いに対する残債の変化を表わす残債曲線を併せて表示させるようにしたことを特徴とする付記 1 記載の金銭消費貸借契約変更の勧誘方法。

【 0 0 8 2 】

（付記 8） 前記契約内容の変更手続きは、現状の契約に対して登録されている情報から、該手続きに必要な情報を抽出し、表示させるようにしたことを特徴とする付記 2 記載の金銭消費貸借契約変更の勧誘方法。

【 0 0 8 3 】

（付記 9） 前記手続きに必要な情報に対し、変更を受け付けるようにしたことを特徴とする付記 8 記載の金銭消費貸借契約変更の勧誘方法。

（付記 1 0） コンピュータに、債務者の中からあらかじめ設定された条件を満たす勧誘対象者を抽出し、抽出された債務者に対して支払い条件を緩和するような別の支払い条件への契約内容の変更の案内および契約内容の変更受け付けに関する情報を通知し、前記債務者からのアクセスに基づき、前記別の支払い条件に変更したときの返済計画のシミュレーションを行い、前記シミュレーションの結果に対して前記債務者から新契約内容への変更に対する同意が得られた場合に契約内容の変更手続きを行わせるためのプログラム。

【 0 0 8 4 】

（付記 1 1） コンピュータに、債務者の中からあらかじめ設定された条件を満たす勧誘対象者を抽出し、抽出された債務者に対して支払い条件を緩和するような別の支払い条件への契約内容の変更の案内および契約内容の変更受け付けに関する情報を通知し、前記債務者からのアクセスに基づき、前記別の支払い条件に変更したときの返済計画のシミュレーションを行い、前記シミュレーションの結果に対して前記債務者から新契約内容への変更に対する同意が得られた場合に契約内容の変更手続きを行わせるためのプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【 0 0 8 5 】

（付記 1 2） 債務者に対して支払い条件の契約内容の変更を勧誘する金銭消

費貸借契約変更の勧誘装置において、

債務者の中からあらかじめ設定された条件を満たす勧誘対象者を抽出する勧誘対象者抽出手段と、

抽出された債務者に対して支払い条件を緩和するような別の支払い条件への契約内容の変更の案内および契約内容の変更受け付けに関する情報を通知する通知手段と、

前記債務者からのアクセスに基づき、前記別の支払い条件に変更したときの返済計画のシミュレーションを行う支払シミュレーション手段と、

前記シミュレーションの結果に対して前記債務者から新契約内容への変更に対する同意が得られた場合に契約内容の変更手続きを行う手段と、

を備えていることを特徴とする金銭消費貸借契約変更の勧誘装置。

【 0 0 8 6 】

【発明の効果】

以上説明したように本発明では、請求処理または督促処理を行うときに、債務者の中からあらかじめ設定された条件を満たす勧誘対象者を抽出し、抽出された債務者に支払い条件を緩和するような新契約の案内を契約変更の申し込みに関する情報とともに通知し、その情報による債務者からのアクセスに基づき、契約内容を変更した後の返済計画のシミュレーションを行い、そのシミュレーションの結果、新契約内容への変更に対して同意できる場合、債務者は、その場で、契約内容の変更手続きを行うことができる構成にした。

【 0 0 8 7 】

このため、債権者は、自己の顧客である債務者が一時的な弁済のために他のローン業者へ流れていくことを防止することができ、しかも、勧誘対象者の抽出時に事前に審査が済んでいて、新契約が可能な債務者しか抽出しないので、効率良く新しい契約の獲得を促進することができる。また、債務者にとっては、新しい契約にした場合の返済計画を、シミュレーションによりその場で確認して新契約の申し込みをその場で行うことができることから、新契約の手続きを容易に行うことができ、弁済のための新たな資金調達の手間をなくすることができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明による金銭消費貸借契約変更の勧誘方法の原理的な処理の流れを示すフローチャートである。

【図 2】

本発明の勧誘方法を実現するシステム構成を示す図である。

【図 3】

新カードへの切り換え勧誘の全体処理を表わす図である。

【図 4】

契約マスタのデータ構成の例を示す図である。

【図 5】

顧客マスタのデータ構成の例を示す図である。

【図 6】

商品マスタのデータ構成の例を示す図である。

【図 7】

請求データのデータ構成の例を示す図である。

【図 8】

勧誘対象マスタのデータ構成の例を示す図である。

【図 9】

履歴データのデータ構成の例を示す図である。

【図 10】

入金データ／督促データのデータ構成の例を示す図である。

【図 11】

勧誘対象抽出マスタのデータ構成の例を示す図である。

【図 12】

請求データ作成における勧誘対象顧客の抽出処理を示すフローチャートである。

【図 13】

督促データ作成における勧誘対象顧客の抽出処理を示すフローチャートである。

【図 1 4】

借り換え案内を含む電子メールの記載例を示す図である。

【図 1 5】

オンライン処理の流れを示すフローチャートである。

【図 1 6】

個品割賦利用顧客向けのウェブ画面例の上半分を示す図である。

【図 1 7】

個品割賦利用顧客向けのウェブ画面例の下半分を示す図である。

【図 1 8】

既存カード利用顧客向けのウェブ画面例の上半分を示す図である。

【図 1 9】

既存カード利用顧客向けのウェブ画面例の下半分を示す図である。

【図 2 0】

本発明の実施の形態に用いるサーバのハードウェア構成例を示す図である。

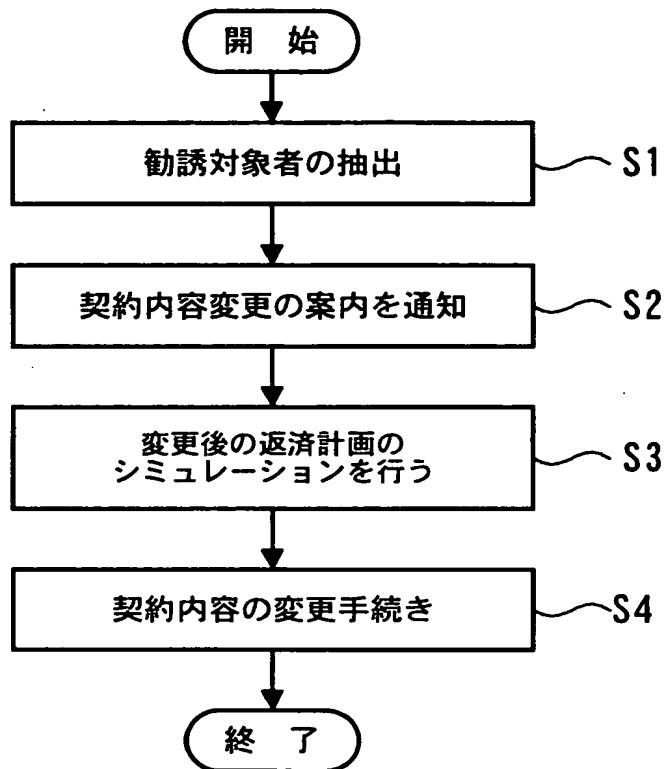
【符号の説明】

- 1 クレジット会社
- 2 サーバ
- 3 インターネット網
- 4 顧客
- 5 パーソナルコンピュータ
- 6 ディスク
- 1 1 売上処理
- 1 2 契約マスタ
- 1 3 請求データ作成時勧誘対象抽出処理
- 1 4 顧客マスタ
- 1 5 請求データ
- 1 6 勧誘対象マスタ
- 1 7 請求処理
- 1 8 商品マスタ

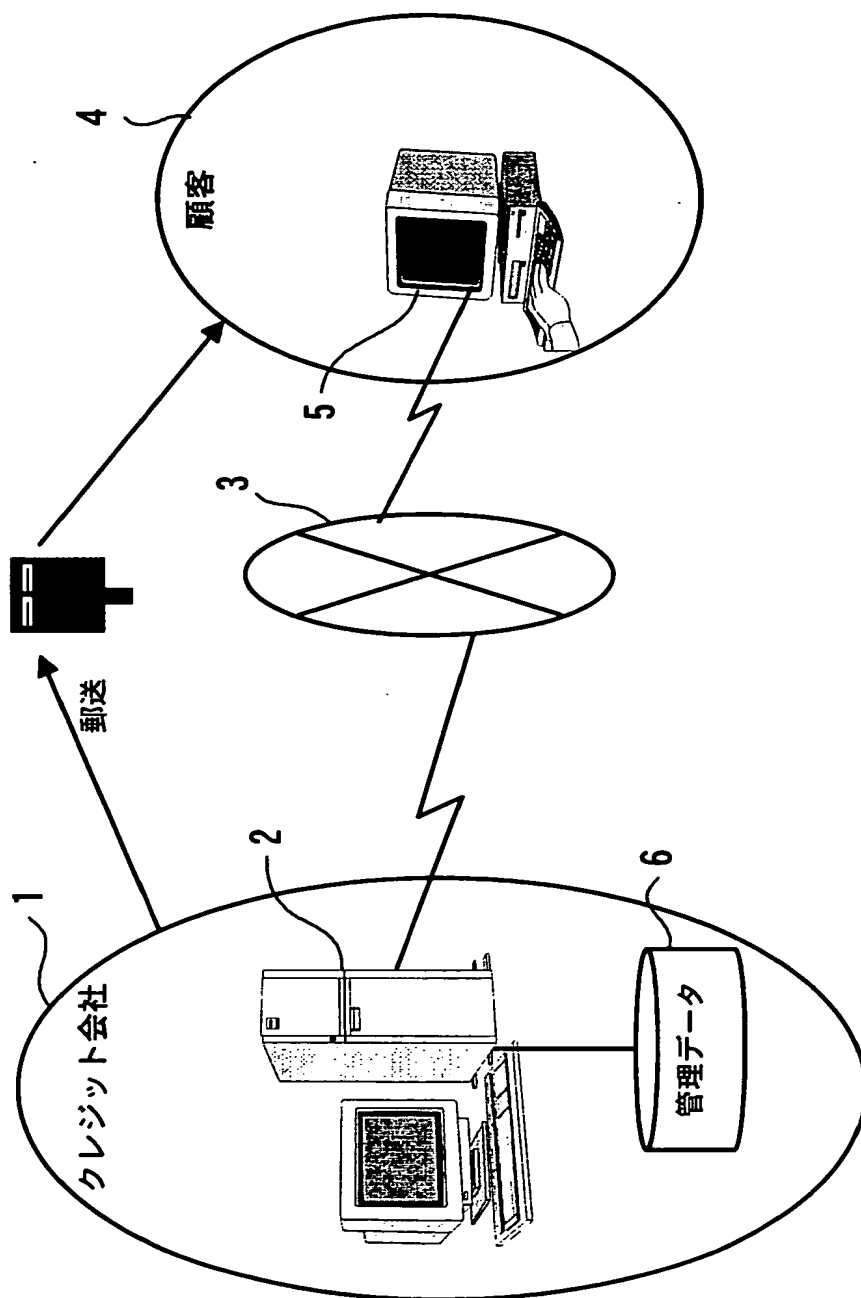
- 1 9 履歴データ
- 2 0 入金処理
- 2 1 入金データ
- 2 2 督促処理
- 2 3 督促データ
- 2 4 督促データ作成時勧誘対象抽出処理
- 2 5 勧誘対象抽出マスタ
- 2 6 メール送信処理
- 2 7 オンライン処理

【書類名】 図面

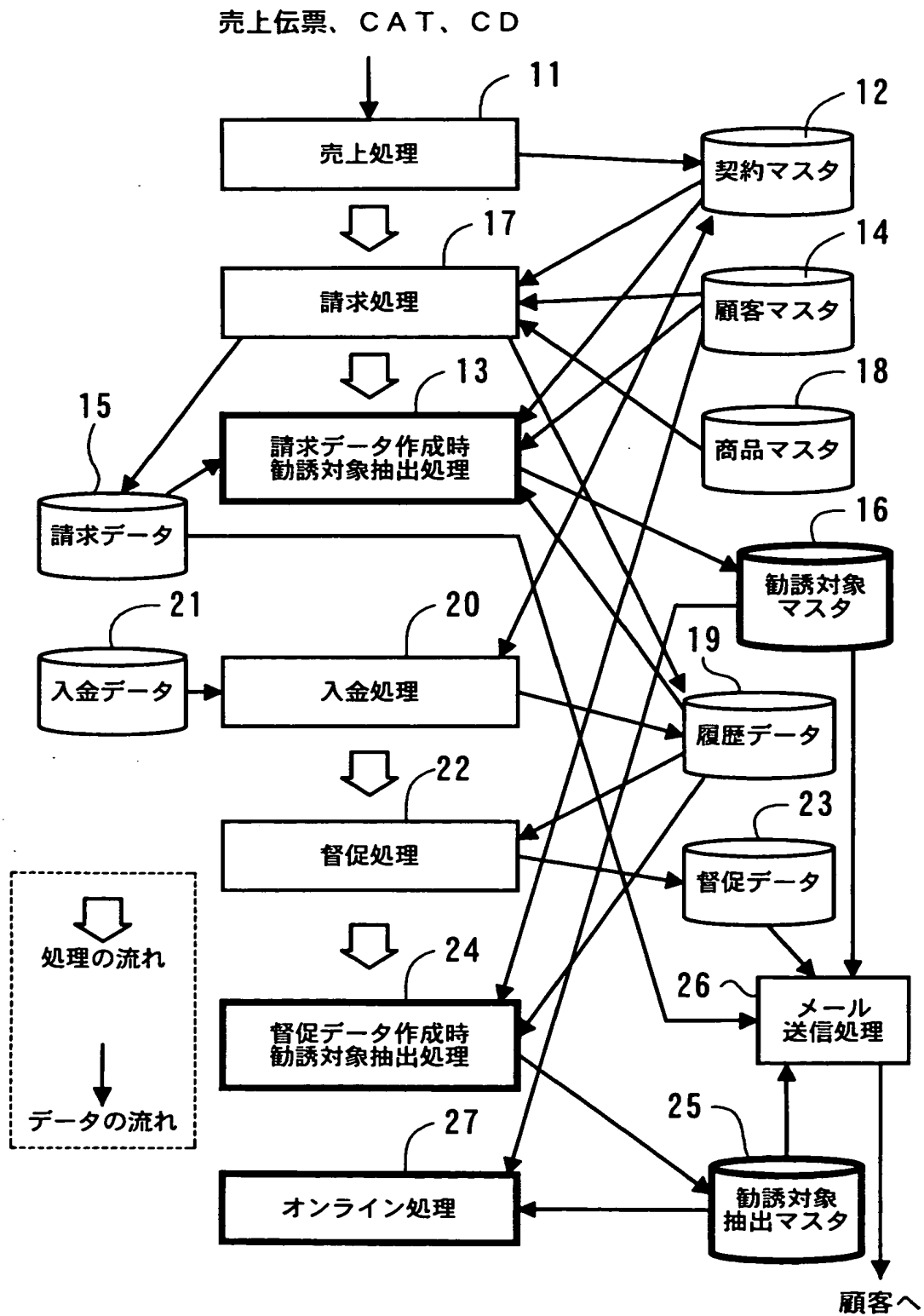
【図 1】



【図 2】



【図 3】



【図 4】

契約マスタ

12

契約番号	有効期限	残高	手数料率	種別	購入品	購入金額	購入日
1234-aaa-0001	2001.06	30000	16	A	テレビ	50000	20010111
1234-aaa-0002	2001.06	50000	16	A	エアコン	60000	20010213
5678-bbb-0001	2002.10	90000	16	B	寝具	100000	20010220
4321-ccc-0001	2001.11	90000	16	C	エステ	100000	20010201
3333-ddd-0001	2001.11	230000	20	A	パソコン	400000	19990801

【図 5】

14

顧客マスタ

顧客No	個人情報						口座情報			
	カナ氏名	漢字氏名	住所	居住区分	居住年数	勤務先	勤務先Tel	銀行コード	支店コード	口座番号
1234-aaa	ヤマダ タロウ	山田太郎	港区六本木	1	5	A物産	03-XXX-XXXX	1	40	XXXXXXXXXX
5678-bbb	サウ イチロウ	佐藤一郎	世田谷区代田	2	1	B商事	03-XXX-XXXX	2	3	XXXXXXXXXX
4321-ccc	タカ ハナコ	田中花子	渋谷区神南	1	10	Cカンパニー	03-XXX-XXXX	3	50	XXXXXXXXXX
3333-ddd	タカハシ シロウ	高橋次郎	新宿区西新宿	2	15	D株式会社	03-XXX-XXXX	2	22	XXXXXXXXXX

1:持家
2:マンション

【図 6】

商品マスタ

18

商品種別	一括	分割	リボ	ボーナス併用
A (従来カード)	1	1	0	1
B (ジョイントカード)	1	1	1	1
C (個品)	1	1	0	1

【図 7】

15

請求データ

契約番号	処理月	請求額	入金額	残金	入金区分	入金結果区分	銀行コード	支店コード	種目	口座番号
1234-aaa	2001.04	20000					1	40	1	XXXXXXXXXX
1234-bbb	2001.04	10000					2	3	1	XXXXXXXXXX
1234-ccc	2001.04	10000					3	50	1	XXXXXXXXXX
1234-ddd	2001.04	10000					2	22	1	XXXXXXXXXX

1:銀行 0:正常入金
2:ATM 1:残高不足
3:コンビニ

【図 8】

16

勧誘対象マスタ

顧客No		個人情報					口座情報					
		カナ氏名	漢字氏名	住所	居住区分	居住年数	勤務先	勤務先Tel	銀行コード	支店コード	種目	口座番号
1234-aaa		ヤマダ タロウ	山田太郎	港区六本木	1	5	A物産	03-XXX-XXXX	1	40	1	XXXXXXXXXX
4321-ccc		タカ ハナコ	田中花子	渋谷区神南	1	10	Cカンパニー	03-XXX-XXXX	3	50	1	XXXXXXXXXX
3333-ddd		タカハシ ジロウ	高橋次郎	新宿区西新宿	2	15	D株式会社	03-XXX-XXXX	2	22	1	XXXXXXXXXX

1:持家
2:マンション

請求額		残高	貸付条件
20000		80000	
10000		90000	
10000		230000	

【図 9】

履歴データ

19

契約番号	処理月	請求額	入金額	残金	入金区分	入金結果区分
1234-aaa-0001	2001.04	10000				
1234-aaa-0001	2002.03	20000	20000	30000	1	0
1234-aaa-0001	2002.02	10000	0	50000	1	1
1234-aaa-0002	2001.04	10000				
1234-aaa-0002	2001.03	10000	10000	60000	1	0
5678-bbb-0001	2001.04	10000				
5678-bbb-0001	2001.03	10000	10000	90000	1	0
4321-ccc-0001	2001.04	10000				
4321-ccc-0001	2001.03	10000	10000	90000	1	0
3333-ddd-0001	2001.04	10000				
3333-ddd-0001	2001.03	10000	10000	230000	3	0
3333-ddd-0001	2001.02	10000	10000	240000	3	0
3333-ddd-0001	2001.01	10000	10000	250000	3	0
3333-ddd-0001	2000.12	10000	10000	260000	3	0
3333-ddd-0001	2000.11	10000	10000	270000	2	0
3333-ddd-0001	2000.10	40000	40000	280000	3	0
3333-ddd-0001	2000.09	30000	0	320000		1
3333-ddd-0001	2000.08	20000	0	320000		1
3333-ddd-0001	2000.07	10000	0	320000		1
3333-ddd-0001	2000.06	10000	10000	320000	3	0
3333-ddd-0001	2000.05	10000	10000	330000	3	0
3333-ddd-0001	2000.04	10000	10000	340000	2	0
3333-ddd-0001	2000.03	20000	20000	350000	2	0
3333-ddd-0001	2000.02	10000	0	370000		1
3333-ddd-0001	2000.01	10000	10000	370000	2	0
3333-ddd-0001	1999.12	30000	30000	360000	2	0
3333-ddd-0001	1999.11	20000	0	390000		1
3333-ddd-0001	1999.10	10000	0	390000		1
3333-ddd-0001	1999.09	10000	10000	390000	2	0

未収

未収

未収

未収

未収

未収

未収

1:銀行 0:正常入金
 2:ATM 1:残高不足
 3:コンビニ

【図 1 0】

21

入金／督促データ

顧客No	処理月	請求額	入金額	残金	入金結果区分
1234-aaa	2001.04	20000	0	90000	1
5678-bbb	2001.04	10000	0	90000	1
4321-ccc	2001.04	10000	0	90000	1
3333-ddd	2001.04	10000	0	230000	1

0:正常入金
1:残高不足

【図 1 1】

25

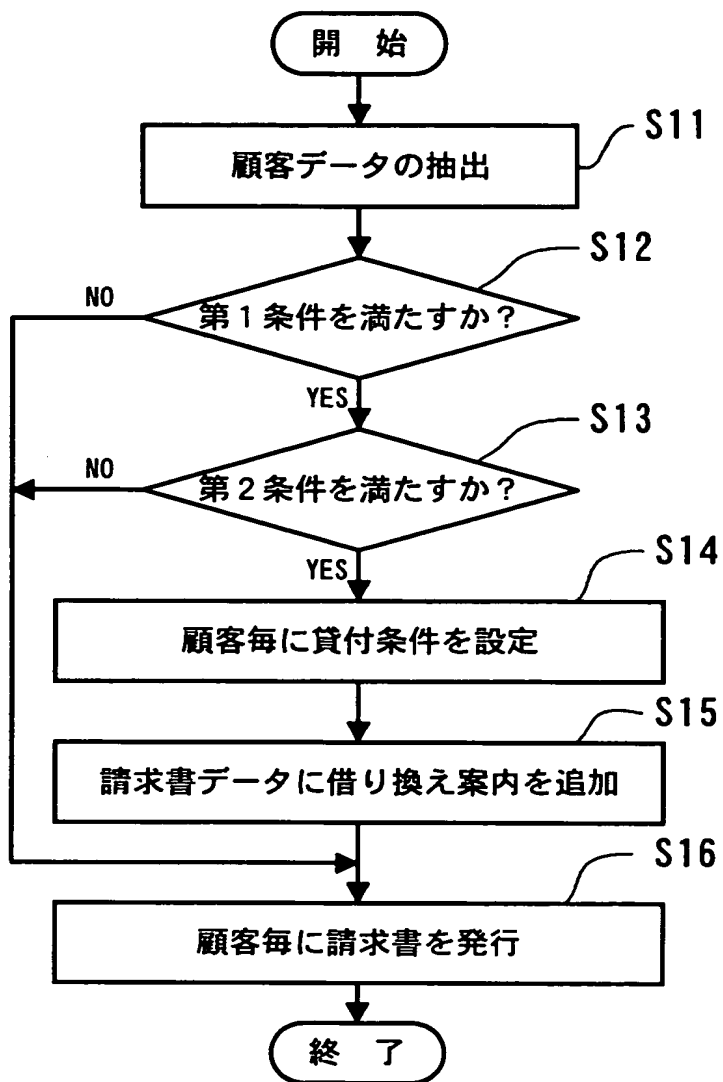
勧誘対象抽出マスタ

顧客No	個人情報					口座情報		
	カナ氏名	漢字氏名	住所	居住区分	居住年数	勤務先	勤務先Tel	銀行コード 支店コード 種目 口座番号
1234-aaa	ヤマダ タロウ	山田太郎	港区六本木	1	5	A物産	03-XXX-XXXX	1 40 1 XXXXXXXXX
4321-ccc	タカ ハナコ	田中花子	渋谷区神南	1	10	Cカンパニー	03-XXX-XXXX	3 50 1 XXXXXXXXX
3333-ddd	タカハシ シロウ	高橋次郎	新宿区西新宿	2	15	D株式会社	03-XXX-XXXX	2 22 1 XXXXXXXXX

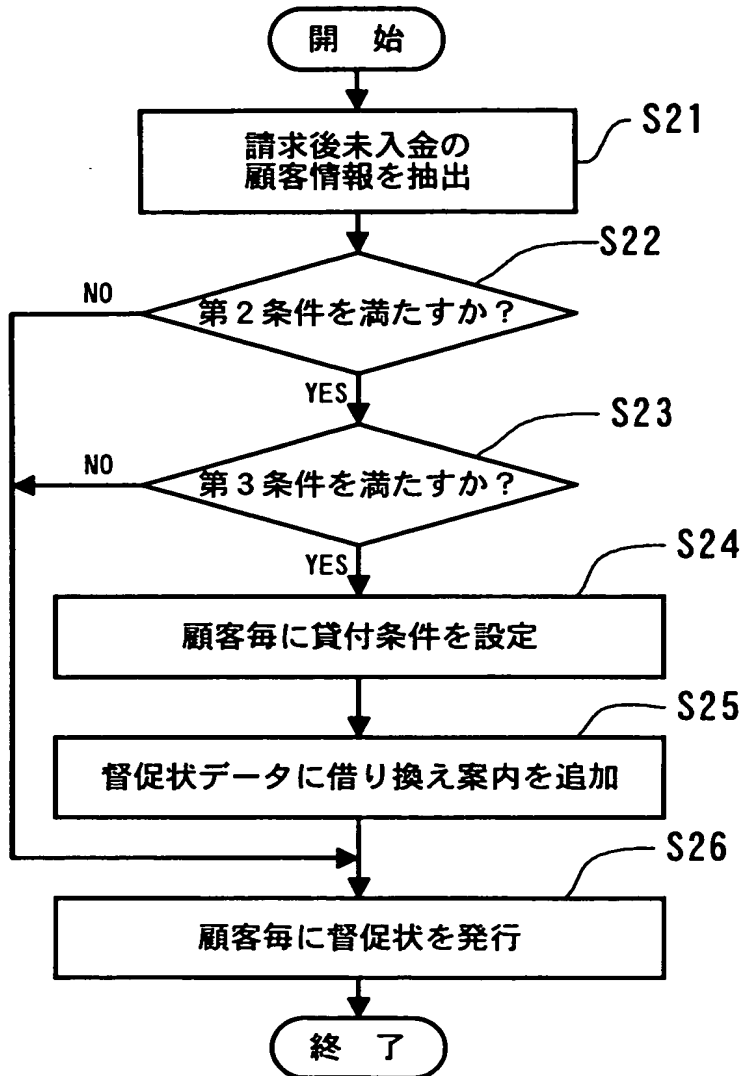
1:持家
2:マンション

請求額	残高	貸付条件
20000	90000	
10000	90000	
10000	230000	

【図 1 2】



【図 1 3】



【図 1 4】

////請求明細情報のご案内////

○×カード会員の皆様へ

○×カードをご利用いただき、誠にありがとうございます。
カードのご利用明細と請求金額の情報が更新されましたのでご案内申し上げます。
カードご利用明細ならびに請求金額は以下のURLアドレスよりご覧頂くことができます。
また、現在の御返済計画を見直し負担を軽減されたい方におきましては、返済シミュレーションを提供致しますのでご参考の新しいカードをお勧め致します。

<http://credit.finance.xxx.com/oxcard>

本メールは、すべての会員様に通知しております。
また、上記URLよりカードご利用明細と請求金額の見方や各種サービスのご案内等を参照することができますので、あわせてご覧ください。

お客様の顧客コードは"1234-aaa"です。

///お問い合わせ///

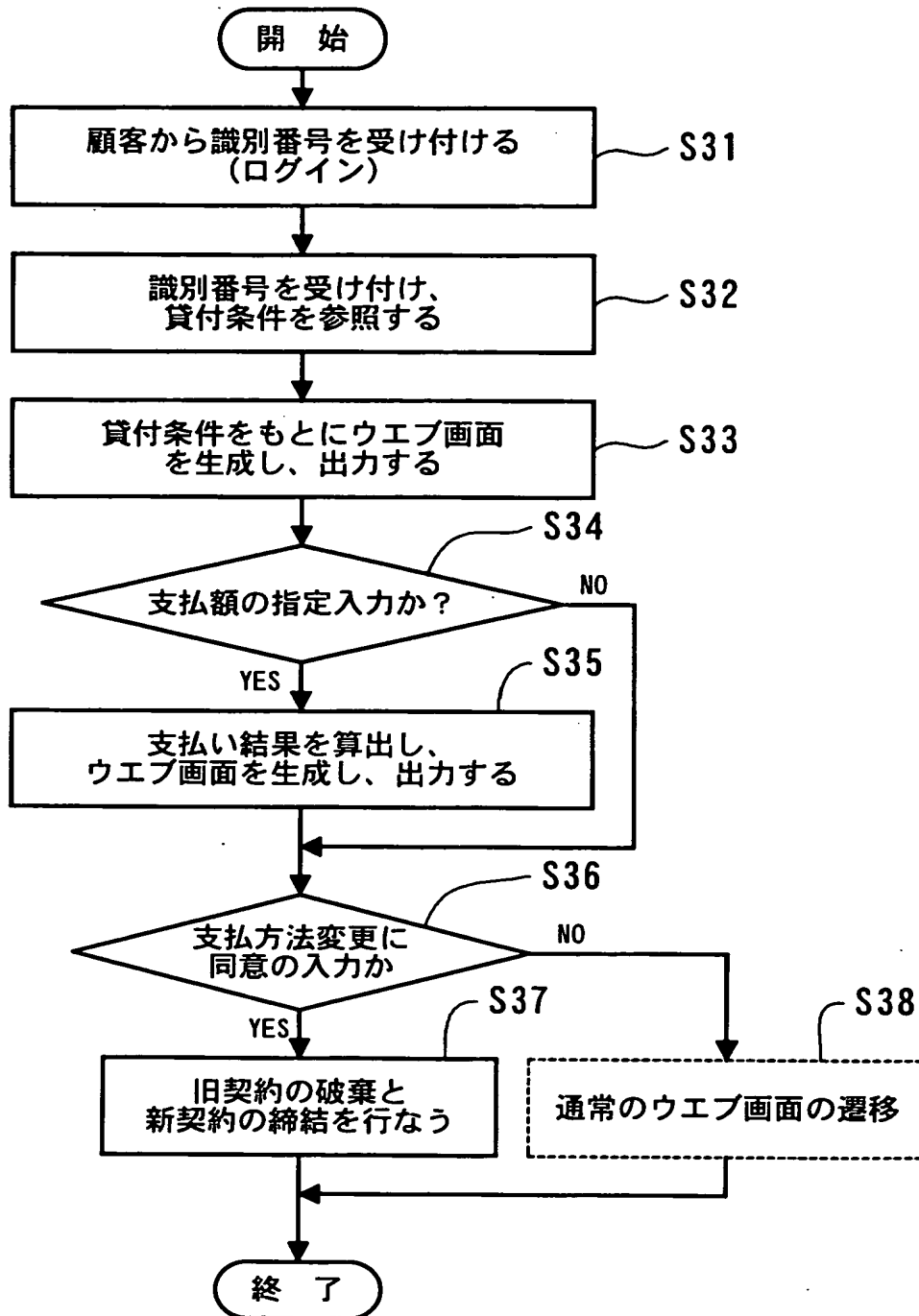
ご不明な点などございましたら、以下までお問い合わせ下さい。

E-mail : net-info@oxcard.co.jp

TEL : 03-XXXX-XXXX (受付時間:9:30~17:30 土・日曜・祝日定休)


株式会社○×カードコーポレーション 品川支店
〒108-0074 東京都港区高輪3丁目26番xx号 品川

【図 1 5】



【図 16】

30

TOP 

お客様のご利用情報および〇×カードのご案内

31

氏名	山田〇郎
住所	東京都千代〇区 1-1-×
電話番号	03-1234-567□

●ご利用明細（2001年3月）

32

ご利用日	ご利用店名	お支払い区分	ご利用金額
5日	〇急ハンス 池△店	一括払い	45,554円
合計金額		***	45,554円

●請求日と請求金額

33

	お支払い（4月10日）
お支払い方法	一括払い
お支払い金額	45,554円

この返済の負担を軽減させたい場合には、〇×カードに切り換えることにより、返済方法を変更できます。
 実際に、シミュレーションで返済がどのようになるのか下の返済シミュレーションでご確認下さい。
 シミュレーションを行わない場合は、「終了」ボタンを押してください。

(終了) 37

34

●返済シミュレーション

毎月、お支払い頂く元金を入力して下さい
 （〇×カードでは、お支払いを自由に選択できます。）

ミニマムペイメント 1千円 （左記金額以上であれば、自由に返済金額を設定できます）

毎月お支払い頂く金額 千円（半角数字）

毎月返済日 （半角数字）

【図17】

35

シミュレーション結果
毎月返済元金 2千円

	初回のお支払い	2回目のお支払い
支払日	4月10日	5月10日
内手数料	△円	△円

※ 毎月の返済日／返済金額の変更、お支払い日以外の返済などもできます。

お支払い回数	〇〇回
お支払い総額	□□円
内手数料	△円

※ 追加のご利用がない場合のシミュレーション結果です。

36

クリックすると表示します。

●お申し込み（カード入会手続き）
会員規約に同意の上、入会手続きを行ってください。

38

会員規約

氏名	山田〇郎
自宅住所	東京都千代〇区1-1-×
自宅電話番号	03-1234-567□
勤務先	〇×商事
勤務先住所	東京都品〇区2-2-×
勤務先電話番号	03-4321-876□

左記情報に変更がある場合は、「変更」ボタンを押してください。

39

変更

上記の情報で問題なければ、「同意」ボタンを押してください。
これにより、カード入会申し込みは完了です。
後日、印刷済みの契約書を送付させていただきます。

40

同意

TOP

【図 18】

50

TOP

お客様のご利用情報および〇×カードのご案内

カード番号	1 2 3 4 - 5 6 7 8 - 7 8 9 0 - 1 2 3 〇
氏名	山田〇郎
住所	東京都千代〇区 1 - 1 - ×
電話番号	0 3 - 1 2 3 4 - 5 6 7 □

51

●ご利用明細（2001年3月）

ご利用日	ご利用店名	お支払い区分	ご利用金額
5 日	〇急ハンズ 池△店	一括払い	12,345円
7 日	□井 渋谷×店	一括払い	27,654円
12 日	△木屋 大井〇店	一括払い	5,555円
合計金額		***	45,554円

●請求日と請求金額

	お支払い（4月10日）
お支払い方法	一括払い
お支払い金額	45,554円

この返済の負担を軽減させたい場合には、〇×カードに切り換えることにより、返済方法を変更できます。
 実際に、シミュレーションで返済がどのようになるのか下の返済シミュレーションでご確認下さい。
 シミュレーションを行わない場合は、「終了」ボタンを押してください。

終了

57

●返済シミュレーション

毎月、お支払い頂く元金を入力して下さい
 （〇×カードでは、お支払いを自由に選択できます。）

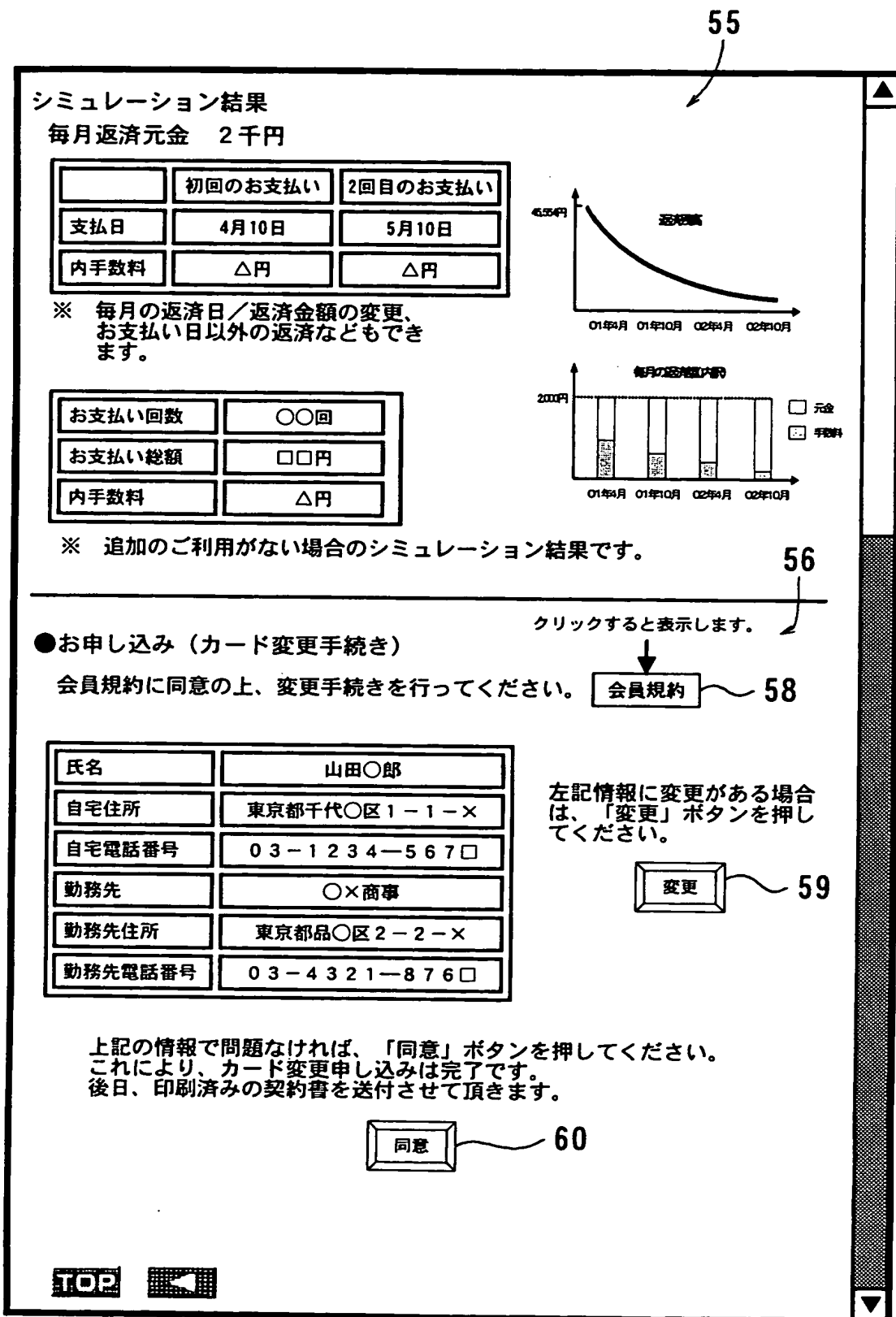
ミニマムペイメント 1千円
（左記金額以上であれば、自由に返済金額を設定できます）

毎月お支払い頂く金額 2 千円（半角数字）

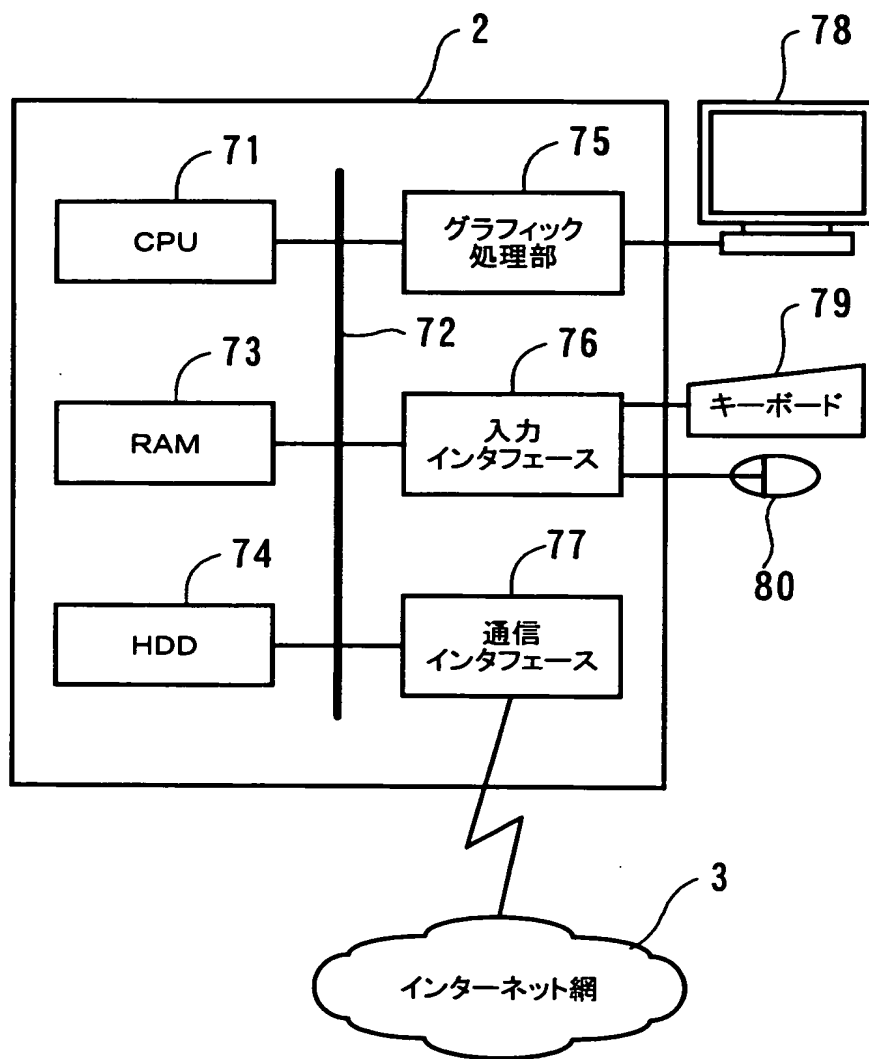
毎月返済日 10（半角数字）

54

【図19】



【図 20】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 金銭消費貸借契約変更の勧誘方法に関し、新たな契約獲得の可能性のある潜在顧客を発掘し、契約を促進させることを目的とする。

【解決手段】 債権者が利用明細兼請求書を発行するとき、および／または督促処理を行うときに、債務者の中から債務不履行候補または債務不履行となる条件を満たす勧誘対象者を抽出し（ステップ S 1）し、抽出された債務者に新契約の案内をしているウェブサイトのアドレスを通知する（ステップ S 2）。そのウェブサイトでは、契約内容の変更をした場合の返済計画のシミュレーションを行い（ステップ S 3）、そのシミュレーションの結果に同意できる場合、その場で、契約内容の変更手続きを行うようにする（ステップ S 4）。新契約が可能な債務者を勧誘対象者として抽出し、ウェブサイトで契約後の返済計画をその場で確認できるので、契約を促進できる。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [0 0 0 0 0 5 2 2 3]

1. 変更年月日 1 9 9 6 年 3 月 2 6 日

[変更理由] 住所変更

住 所 神奈川県川崎市中原区上小田中 4 丁目 1 番 1 号

氏 名 富士通株式会社